

平成20年 No.35

学長のリーダーシップによる戦略的配置教員の選考要項

制定理由

学長のリーダーシップにより戦略的に配置する大学教員の選考に関し，必要な要項を制定するものである。

承認経過

平成20年 7 月 9 日 教育研究評議会 審議・承認

学長のリーダーシップによる戦略的配置教員の選考要項を次のように制定する。

平成20年7月10日

国立大学法人東京学芸大学長

鷲 山 恭 彦

学長のリーダーシップによる戦略的配置教員の選考要項

(趣旨)

第1条 東京学芸大学（以下「本学」という。）において、学長のリーダーシップにより戦略的に配置する教員（以下「戦略的配置教員」という。）の採用に係る選考については、東京学芸大学教員選考規程（平成16年規程第15号。以下「教員選考規程」という。）第35条の規定に基づき、この要項の定めるところによる。

(選考)

第2条 戦略的配置教員の選考は、教員候補者選考委員会（以下「選考委員会」という。）が教員候補者（以下「候補者」という。）として選考した者のうちから、教育研究評議会（以下「評議会」という。）の議に基づき学長が行う。

(開設承認等)

第3条 学長が戦略的配置教員に係る選考委員会を開設するときは、教員候補者選考委員会開設申請書（様式第1）により、評議会の承認を得なければならない。

2 開設の承認後1年を経過した時点において、候補者を選考できないときは、当該開設の承認は無効とする。

3 開設を承認された選考職名と異なる職名で候補者を選考するときは、改めて開設申請を行うものとする。この場合において、前項の適用については、当初の承認日を起算日とする。

(選考手続)

第4条 候補者の選考は、選考委員会において単記無記名投票による委員（委員長を除く。）の3分の2以上の賛成票をもって行う。

2 選考委員会委員長は、前項により候補者を選考したときは、教員候補者選考調書（様式第2）により、その選考に至った経緯を速やかに評議会に報告し、選考に付さなければならない。この場合において、選考結果の報告は、委員長の指名する委員が行うことができる。

3 戦略的配置教員の選考は、評議会において単記無記名投票による出席評議会構成員の3分の2以上の賛成票をもって行う。

(選考の基準)

第5条 戦略的配置教員の選考は、東京学芸大学教員選考基準（平成16年3月18日制定）に基づき行わなければならない。

（再審査）

第6条 評議会は、必要と認めるときは、選考委員会に再審査を行わせることができる。

（選考の制限）

第7条 第4条第3項に規定する賛成票を得ることのできなかつた者は、当該議決後1年を経過するまでの間、同一職名以上の候補者となることができない。

（選考委員会の組織）

第8条 選考委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 副学長
- (2) 学系長
- (3) 学系選出の評議会評議員 2名

（選考委員会の委員長）

第9条 選考委員会に委員長を置き、副学長（総務等担当）をもって充てる。

2 委員長は、選考委員会を招集し、議長となる。

3 委員長は、選考委員会の会務を掌理する。

（選考委員会の開催）

第10条 選考委員会を開催するときは、委員長は、日時、場所及び委員名を評議会に報告するものとし、これにより難い場合は、開催日の1週間前までに公示することにより替えることができる。

（選考委員会の定足数）

第11条 選考委員会は、全委員の出席がなければ会議を開き、議決することはできない。

（選考委員会委員以外の者の出席）

第12条 選考委員会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

（戦略的配置教員の所属）

第13条 第2条の規定により採用された戦略的配置教員は、本学の講座又は施設・センターのいずれかに所属するものとする。

（公募）

第14条 戦略的配置教員の採用に当たっては、公募によらないことができるものとする。

（その他）

第15条 戦略的配置教員の選考に関し、この要項に定めのない事項については、教員選考規程によるものとする。

附 則

この要項は、平成 20 年 7 月 10 日から施行する。

様式第 1

教員候補者選考委員会開設申請書
(戦略的配置教員)

平成 年 月 日 教育研究評議会議長 殿 東京学芸大学長 ○ ○ ○ ○ 印					
下記のとおり申請します。					
申請番号	講座名等	選考職名	選考員数	選考区分	備考（申請事由）

教 員 候 補 者 選 考 調 書

(戦略的配置教員)

平成 年 月 日

教 育 研 究 評 議 会

選 考 委 員 会 委 員

委 員 長

委 員

選 定 表

区 分	
選考基準該当条項	
賛成投票数	
選考委員会 開催年月日	
氏 名	

選 考 調 書

ふ り が な
氏 名

生 年 月 日

現 住 所

(国 籍)

I 略 歴

- 1 学 歴
- 2 学位・称号
- 3 免許・資格
- 4 職 歴

II 研究業績

- 1 著 書
- 2 論 文
- 3 芸術及び体育業績
- 4 翻 訳
- 5 研究報告書及び調査報告書
- 6 学会発表等
- 7 学術研究上の開発
- 8 学術研究及び専門性に関わる受賞
- 9 その他学術研究上の特記事項
- 10 前回記載の主な業績

III 教育業績

- 1 教育歴の内容
- 2 職務の状況
- 3 教育上の実績
- 4 教育方法の工夫・改善
- 5 作成した教科書や教材等
- 6 教育上の能力に関する評価
- 7 教育面での社会的貢献
- 8 実務経験に関する特記事項
- 9 その他教育上の特記事項

IV 学界及び社会における活動

備考 外国人は、国籍を記載する。